

2024 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 大 阪 製 鐵 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 村 泰 介
(コード番号5449 東証スタンダード)
問 合 せ 先 総 務 部 長 大 山 徹 二
(電話 06-6204-0300)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組みについて

東京証券取引所より 2023 年 3 月に提示された「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」に関して、当社の現状認識および今後の取り組みを開示いたします。内容は次項以降をご参照ください。

以上

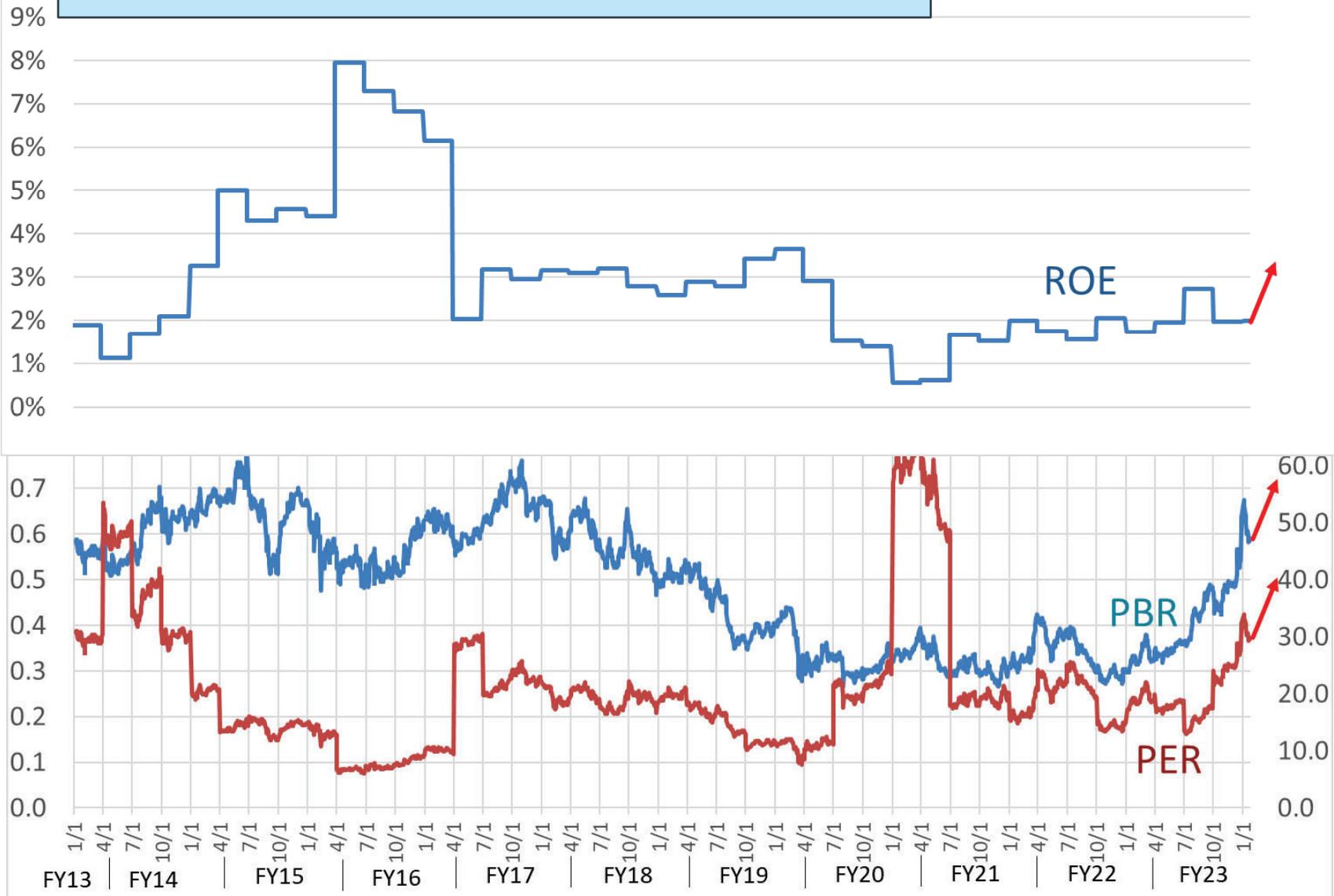
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた 取り組みについて

 **大阪製鐵株式会社**

2024年1月30日

1.現状認識

PBRを向上させるためには、ROE改善とPER向上が必要



ROE、PER、PBRは過去4四半期の平均純資産、当期利益に基づく値

2. 今後の取り組みについて

ROE改善とPER向上に向け、以下の取り組みを実行していきます

企業体質強化
に向けた収益力向上

- ✓ 付加価値商品力強化と販売価格の是正によるマージン確保
- ✓ 生産構造対策（Sプロジェクト：恩加島品種→堺移管統合）
- ✓ 省エネ設備投資によるコスト改善（堺新型炉の導入）
- ✓ KOS事業の収益力強化

成長戦略の実行

- ✓ 成長市場であるインドネシア・アセアン需要の獲得
- ✓ 東京鋼鐵とのシナジー効果最大発揮による事業基盤強化
- ✓ 倉庫能力強化・外部倉庫活用による納入対応競争力強化

利益還元重視
の株主還元政策

- ✓ 収益向上を通じた株主の皆様への適切な利益還元に向け、「配当性向30%程度」を目安とした配当の継続

情報開示・
株主との対話の充実

- ✓ 株主・投資家への非財務情報を含めた情報開示・対話

サステナビリティへの
取り組み

- ✓ 競争力向上に向けた人的資本投資の実行
- ✓ DX推進等による生産性向上投資の実行
- ✓ カーボンニュートラルに向けた省エネ・省CO2投資の実行

持続的成長を
可能とする経営基盤の確保

- ✓ 業績変動の激しい電炉業界の中で経営の安定性を確保しつつ、持続的成長を可能とする盤石な事業基盤を構築する為の財務基盤の確保

ROE改善

PER向上
(期待成長率の上昇・
株主資本コストの低下)

PBR向上